

米国ウィークリー

“NY ダウも最高値が射程圏に！”

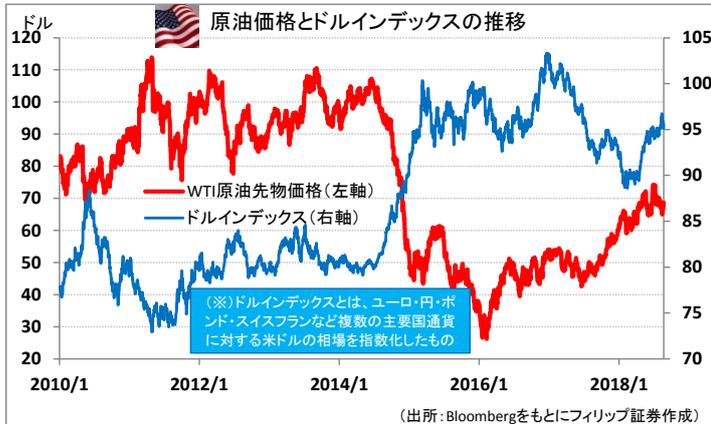
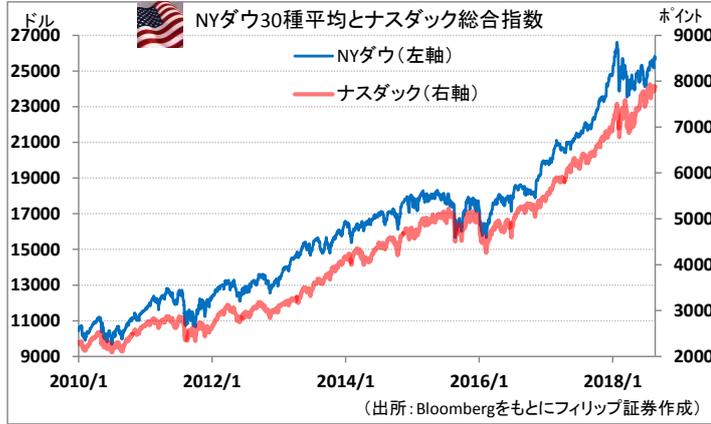
リサーチ部 庵原 浩樹 増淵 透吾

Tel: 03-3666-2101

E-mail: hiroki.ihara@phillip.co.jp togo.masubuchi@phillip.co.jp

2018年8月28日号(2018/8/27 作成)

Report type: ウィークリーストラテジー



“NY ダウも最高値が射程圏に！”

8/24、S&P500は1月以来、ナスダックは7月以来となる最高値を更新。貿易摩擦などを背景に、世界的に株価パフォーマンスが優れないなか、米国株は一人勝ちの状況だ。NY ダウは、25,790.35ドルと終値ベースで1/26の最高値26,616.71ドルまで826ドル(3.2%)に迫り、年初来で4.33%の上昇。S&P500とナスダックはそれぞれ、年初来で7.52%、15.10%の上昇となっている。

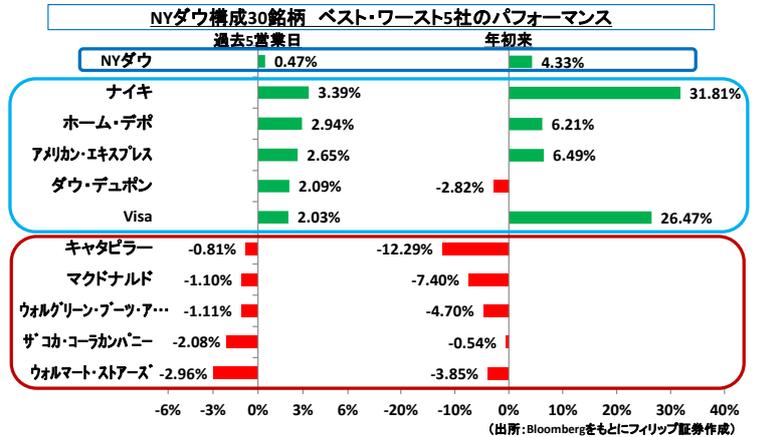
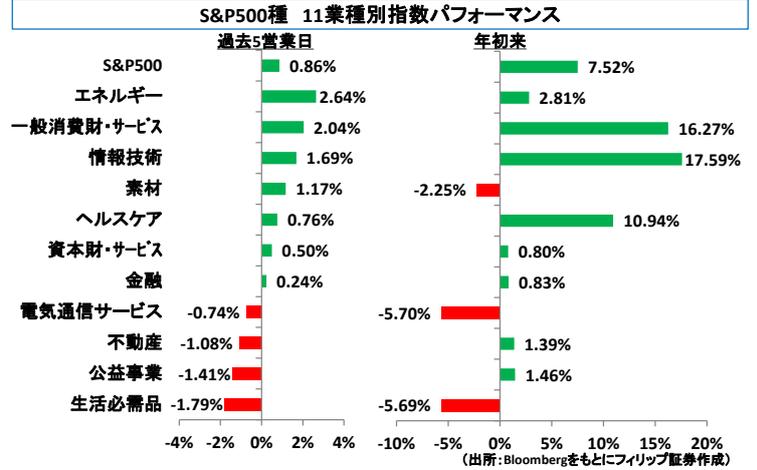
NY ダウ構成銘柄の年初来上昇率は、**ナイキ(NKE)** 31.81%、**アップル(AAPL)** 27.73%、**マイクロソフト(MSFT)** 26.72%がトップ3。S&P500構成銘柄の年初来では、半導体の**アドバンスト・マイクロ・デバイゼス(AMD)**が2.3倍と**ネットフリックス(NFLX)** 86.92%、**アマゾン・ドット・コム(AMZN)** 62.93%の上昇を大幅に上回っている。S&P500の24業種分類では**NFLX**、**AMZN**の他、**トリップアドバイザー(TRIP)**、**メーシーズ(M)**や**ターゲット(TGT)**等の小売が35.62%、**AAPL**や**シスコシステムズ(CSCO)**等テクノロジー・ハード・機器が23.31%、**アドビシステムズ(ADBE)**、**セールスフォース・ドットコム(CRM)**、**ツイッター(TWRT)**等のソフトウェア・サービスが18.08%の上昇。SOX 指数は年初来9.80%高。過去5営業日で3.96%上昇し、構成銘柄では**AMD**が21.29%、**エヌビディア(NVDA)**が11.19%、**マイクロン・テクノロジー(MU)**が7.62%と大幅高になっている。

一方、年初来のセクター別ワーストパフォーマンスは、**フォード・モーター(F)**、**ハーレー・ダビッドソン(HOG)**等の自動車・自動車部品で、貿易摩擦の影響を主因に14.16%の下落。ただ、トランプ大統領は8/25、NAFTA の交渉を巡り、米国とメキシコが近く合意する可能性があるというツイート。カナダも加え、3か国で最終合意を目指す展開となれば、株式市場を押し上げる要因になると見られる。自動車・自動車部品セクターに資金が流入する展開も想定されよう。

8/24、パウエル FRB 議長は経済シンポジウムの講演(ジャクソンホール)で緩やかな利上げスタンスや強い景気動向の認識を示し、市場参加者に安心感が広がった。また、危機が再び脅威となった場合に「できることは何でもやる」とも述べた。休場明け(8/21-24犠牲祭)のトルコの金融市場(株式・債券)や中国のマーケットが波乱の展開となる可能性もあるが、米国株式市場への影響は軽微と見られ、短期的に NY ダウが最高値を目指す展開も予想する。(庵原)

8/28号では **HP(HPQ)**、**メドトロニック(MDT)**、**エヌビディア(NVDA)**、**ターゲット(TGT)**、**トール・ブラザーズ(TOL)**、**ヴァイエムウェア(VMW)**を取り上げた。

■S&P500 業種別および NY ダウ構成銘柄の騰落率(8/24 現在)



■主な企業決算の予定

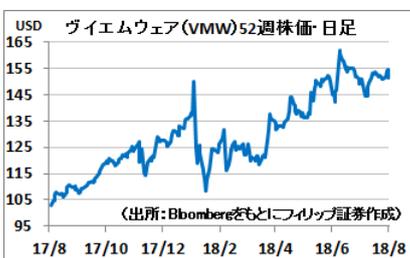
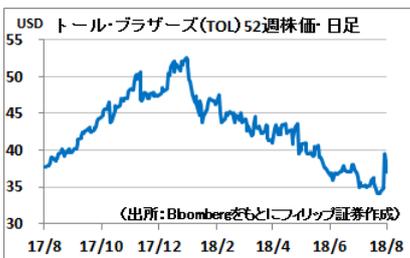
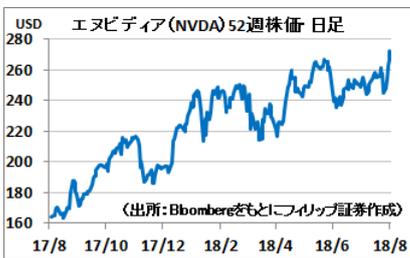
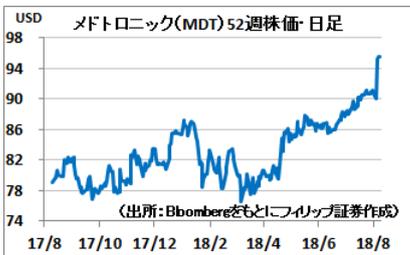
- 8月28日(火): 中国農業銀行、中国建設銀行
- 29日(水): セールスフォース
- 30日(木): 中国工商銀行

■主要イベントの予定

- 28日(火):
 - ・6月の主要20都市住宅価格指数
 - ・8月の消費者信頼感指数
 - ・ユーロ圏7月のマネーサプライ
- 29日(水):
 - ・4-6月 GDP(改定値)
 - ・7月の中古住宅販売成約指数
- 30日(木):
 - ・7月の個人支出、個人所得
 - ・新規失業保険申請件数(8月25日終了週)
 - ・ユーロ圏8月の景況感指数
 - ・独8月のCPI(速報値)
- 31日(金):
 - ・韓国中銀、政策金利発表
 - ・IFA2018/国際コンシューマ・エレクトロニクス展(ベルリン、9月5日まで)
 - ・8月のミシガン大学消費者マインド指数(確定値)
 - ・ブラジル4-6月のGDP
 - ・ユーロ圏7月の失業率、8月のCPI(速報値)
 - ・中国8月の製造業PMI、中国非製造業PMI
 - ・インド4-6月のGDP

(Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

■ 銘柄ピックアップ



- ◇ **HP (HPQ) 市場: NYSE・・・2018/11/20に2018/10期4Q(8-10月)の決算発表を予定**
 - ・1939年にウィリアム・ヒューレットとデビッド・パッカーードによって創業。1947年設立。PC や周辺機器、プリンターなどを手掛ける。2015年にヒューレット・パッカーード・エンタープライズと分離。
 - ・2018/10期3Q (5-7月)は、売上高が前年同期比11.7%増の145.86億USD、純利益が同26.4%増の8.80億USD。PC、プリンターなど幅広い製品分野で販売が伸び7四半期連続の増収。リストラ費用など特殊項目を除く調整後EPSは0.52USDと市場予想の0.50USDを上回った。
 - ・2018/10期4Q (8-10月)会社計画は、調整後EPSが0.52-0.55USD。2018/10通期の会社計画を上方修正。調整後EPSを2.00-2.03USD (従来計画1.97-2.02USD)とした。通期市場予想は、売上高が前期比11.7%増の581.72億USD、当期利益が同84.9%増の46.71億USD。(増潤)
- ◇ **メトロニック (MDT) 市場: NYSE・・・2018/11/20に2019/4期2Q(8-10月)の決算発表を予定**
 - ・1949年設立の医療機器メーカー。心臓ペースメーカーなど循環器領域向け製品、手術支援機器、低侵襲治療機器、糖尿病向け製品など提供する。150カ国に展開し、本社はダブリン。
 - ・2019/4期1Q (5-7月)は、売上高が前年同期比0.1%減の73.84億 USD、純利益が同5.8%増の10.75億 USD。会社分割の影響を除くオーガニック売上高は同6.8%増。インスリンポンプの「MiniMed 670G」などが牽引した。調整後 EPS は1.17USD と市場予想1.11USD を上回った。
 - ・2019/4通期の会社計画を上方修正。オーガニック売上高を前年同期比4.5-5.0%増 (4.0-5.0%増)、調整後 EPS を同9-10%増 (同8-9%増)とした。2019/4通期の市場予想は、売上高が前期比1.7%増の304.50億 USD、当期利益が同68.7%増の52.35億 USD である。(増潤)
- ◇ **エヌビディア (NVDA) 市場: NASDAQ・・・2018/11/8に2019/1期3Q(8-10月)の決算発表を予定**
 - ・1993年に設立した半導体メーカー。ビジュアル・コンピューティングの世界的なリーダーで、コンピューターの画像処理や演算処理の高速化を主な目的とする GPU の開発・販売を行う。
 - ・2019/1期2Q (5-7月)は、売上高が前年同期比40.0%増の31.23億 USD、純利益が同88.9%増の11.01億 USD。調整後 EPS は2.05USD と市場予想の1.65USD を上回った。AI、ゲーム、映像化、自動運転など幅広い分野が伸びたがマイニングを含むその他 OEM は同53.8%減収。
 - ・2019/1期2Q (5-7月)の会社計画は、売上高が31.85-33.15億 USD、売上高総利益率が62.1-63.1%。売上高は市場予想の33.5億 USD を下回った。2019/1通期市場予想は、売上高が前期比34.1%増の130.30億 USD、当期利益が同48.1%増の45.13億 USD。GPU の新しいアーキテクチャー「Turing」を発表。まずは3つの「GeForce」カードに採用し9/20に発売する。(増潤)
- ◇ **ターゲット (TGT) 市場: NYSE・・・2018/11/14に2019/1期3Q(8-10月)の決算発表を予定**
 - ・1902年設立。ディスカウント百貨店チェーン「ターゲット」など1,822店舗展開し、雑貨や生活必需品、食品など幅広い商品を提供する。売上高の約3分の1を自社ブランド製品が占める。
 - ・2019/1期2Q (5-7月)は、売上高が前年同期比6.9%増の177.76億 USD、純利益が同19.1%増の7.99億 USD。調整後 EPS は1.47USD と市場予想の1.39USD を上回った。既存店売上高は同6.5%増。そのうち、実店舗既存店が同4.9%増、オンライン既存店が同41%増だった。
 - ・2019/1期3Q (8-10月)会社計画は、調整後EPSが1.00-1.20USD。2019/1通期の会社計画を上方修正。調整後EPSを5.30-5.50USD (従来計画5.15-5.45USD)とした。2019/1通期の市場予想は、売上高が同3.8%増の746.12億USD、当期利益が同2.4%減の28.64億USD。(増潤)
- ◇ **ツール・ブラザーズ (TOL) 市場: NYSE・・・2018/11/20に2019/4期2Q(8-10月)の決算発表を予定**
 - ・1986年設立。前身は1967年創業。高級住宅の建設・販売を行っている。2017/10末までの5年間で、676の住宅コミュニティに28,355の住宅を供給した。米国21州で事業を展開する。
 - ・2018/10期3Q (5-7月)は、売上高は前年同期比27.3%増の19.10億 USD、純利益が同30.1%増の1.93億 USD。EPS は1.26USD と市場予想の1.02USD を上回った。受注高は同12%増の20.32億 USD と3Q では過去最高。西部や南部、中部大西洋沿岸などで受注が伸びた。
 - ・2018/10通期会社計画を上方修正。引渡戸数を8,100-8,400戸 (従来計画8,000-8,500戸)とし、平均引渡価格を83.5-86.0万 USD (同83.0-86.0万 USD)と下限を上げた。通期市場予想は、売上高が前期比20.9%増の70.28億 USD、当期利益は同31.1%増の7.03億 USD。(増潤)
- ◇ **ヴァイエムウェア (VMware) 市場: NYSE・・・2018/11/29に2019/1期3Q(8-10月)の決算発表を予定**
 - ・1998年に創業した仮想化技術のパイオニア。サーバーやデスクトップ、ネットワークなどの仮想化製品のほか、パブリッククラウドなど仮想化技術をベースにしたソリューションも提供する。
 - ・2019/1期2Q (5-7月)は、売上高が前年同期比12.5%増の21.74億 USD、純利益が同58.6%増の6.44億 USD。幅広い製品・サービスが伸びたほか、Pivotal Software からの投資利益の2.31億 USD も寄与し大幅増益。調整後 EPS は1.54USD と市場予想の1.49USD を上回った。
 - ・2019/1期3Q (8-10月)の会社計画は、売上高が前年同期比11.7%増の21.65億 USD、調整後 EPS が1.50USD である。通期会社計画を上方修正。調整後 EPS は6.14USD で据え置いたが、売上高を同12.2%増の88.20億 USD (従来計画87.80億 USD)とした。通期市場予想は、売上高が前期比10.8%増の87.78億 USD、当期利益が同3.9倍の22.40億 USD である。(増潤)

(※) 決算発表の予定は 8/24 現在であり、変更される可能性があります。



フィリップ証券株式会社

Member of PhillipCapital Group

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第127号

加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会

【留意事項】

- 上場有価証券等のお取引の手数料は、国内株式の場合は約定代金に対して上限1.242%(消費税込)(ただし、最低手数料2,160円(消費税込)、外国取引の場合は円換算後の現地約定代金(円換算後の現地約定代金とは、現地における約定代金を当社が定める適用為替レートにより円に換算した金額をいいます。)の最大1.08%(消費税込)(ただし、対面販売の場合、3,240円に満たない場合は3,240円、コールセンターの場合、1,944円に満たない場合は1,944円)となります。
- 上場有価証券等は、株式相場、金利水準等の変動による市場リスク、発行者等の業務や財産の状況等に变化が生じた場合の信用リスク、外国証券である場合には為替変動リスク等により損失が生じるおそれがあります。また新株予約権等が付された金融商品については、これらの権利を行使できる期間の制限等があります。
- 国内金融商品取引所もしくは店頭市場への上場が行われず、また国内において公募、売出しが行われていない外国株式等については、我が国の金融商品取引法に基づいた発行者による企業内容の開示は行われていません。
- 金融商品ごとに手数料等及びリスクは異なりますので、お取引に際しては、当該商品等の契約締結前交付書面や目論見書又はお客様向け資料をよくお読みください。

【免責事項】

- この資料は、フィリップ証券株式会社(以下、「フィリップ証券」といいます。)が作成したものです。
- 実際の投資にあたっては、お客様ご自身の責任と判断においてお願いいたします。
- この資料に記載する情報は、フィリップ証券の内部で作成したか、フィリップ証券が正確且つ信頼しうると判断した情報源から入手しておりますが、その正確性又は完全性を保証したものではありません。当該情報は作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。この資料に記載する内容は将来の運用成果等を保証もしくは示唆するものではありません。
- この資料を入手された方は、フィリップ証券の事前の同意なく、全体または一部を複製したり、他に配布したりしないようお願いいたします。

WEB